

2023 年 1 月 10 日

報道機関 各位

学校法人 千葉工業大学

STAIR ラボ、Ocean180 プロジェクト主催コンペティション開催 沖縄のブルーカーボン・ダイナミクスを可視化せよ！

--- 沖縄県沿岸の水深・水温等の環境条件のデータから、海藻の被度を予測しよう！ ---

千葉工業大学、人工知能・ソフトウェア技術研究センター(STAIR Lab)と Ocean180 プロジェクトは共同で機械学習コンペティション「沖縄のブルーカーボン・ダイナミクスを可視化せよ！」を開催します。これに伴い、キックオフイベントを 1 月 21 日オンラインで開催します。コンペティションのデータセット、ルール等の詳細については、近日、公開予定です。

生物多様性の喪失が非常に重大な地球規模のリスクとして認識されるようになってきています。Ocean180 プロジェクト* (<https://ocean180-pj.com>)は、海洋生物多様性に関する膨大なデータを整備し、それにより海の生物多様性の時空間の変化を把握し、将来のリスクを予測できるようにするための研究開発を行っています。コンペティションでは蓄積したデータの一部を利用して、生物多様性に関連する予測タスクに挑戦いただきます。これをきっかけに一人でも多くの人工知能、データサイエンスの研究者の皆さんが生物多様性の課題に関心を持ち、問題の解決に寄与していただくことを期待しています。

* Ocean180 プロジェクトは文部科学省「海洋生物ビッグデータ活用技術高度化」の正規課題「海洋生物多様性ビッグデータ汎用化の基盤技術と海の豊かさを守る応用技術の開発」を実施する研究プロジェクトです(代表:琉球大学理学部久保田康裕教授)。

【キックオフイベント(オンライン)】

2023 年 1 月 21 日(土曜日)13:00 – 15:00

アジェンダ

生物多様性ビッグデータについての解説

Ocean180 プロジェクトより生物多様性に関する様々なデータを紹介し、生物多様性の時空間予測手法について簡単に紹介

コンペ説明

課題

参加要領およびルール説明

データダウンロード要領

参加申込は以下より

<https://stair.connpass.com/event/269118>

【コンペ概要】

ブルーカーボン・ダイナミクスを可視化せよ！

-- 沖縄県沿岸の水深・水温等の環境条件のデータから、海藻の被度を予測しよう！ --

■ 主催:千葉工業大学 人工知能・ソフトウェア技術研究センター
Ocean180 プロジェクト、

- 共催:人工知能学会
- 協賛:株式会社シンク・ネイチャー

課題

沖縄県全域を対象として、ブルーカーボンの重要な指標となる海草藻場の被度(一定面積の地表面や海底面を覆う割合)を、環境変数や衛星画像をもとに推定するコンペを実施いたします。様々な場所と年代、時期に調査された、15,000 点ほどの海藻の被度データと、様々な環境変数や衛星画像をトレーニングデータとして用いて、指定された場所のある時点の海藻被度を推定していただきます。

コンペティション全体のスケジュール

2023 年 1 月 21 日 ～ 4 月 30 日:コンペ期間

2023 年 5 月 1 日 ～ 5 月 31 日:入賞モデル審査、決定

2023 年 6 月 6 日 ～ 9 日のどこか 2 時間:結果発表・表彰式、入賞者によるプレゼン

第 37 回人工知能学会全国大会(熊本)の企画セッション(申込予定)として開催

賞金

- ◆第 1 位 50 万円
- ◆第 2 位 30 万円
- ◆第 3 位 20 万円

コンペサイト(Signate competition)※1 月 21 日(土)から閲覧可能

<https://signate.jp/competitions/936>

〈お問い合わせ先〉

千葉工業大学
人工知能・ソフトウェア技術研究センター(STAIR Lab)
竹内 彰一 (たけうち あきかず)
TEL 047-478-4416
akikazu.takeuchi@p.chibakoudai.jp